
QA49 1回目の検査でA1だった判定が2回目の検査でいきなりBになることもあるのですか

甲状腺がんは、「判定結果のA1からA2になり、さらにBになる」といったように、順を追って発症に至るわけではありません。のう胞も結節も認められなかった（A1判定）方が、次回の検査でB判定となる場合もございます。このため、次回検査を行う場合は、前回の検査でA（A1又はA2）判定だった方も、B判定だった方も、予見なく、同じ検査を実施しています。腫瘍の増殖速度は超音波の画像として見えてきてからは比較できますが、見えていない時期は何とも言えません。従ってA1から2年後突然5mm以上の結節として発見される場合もあります。

出典：福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センターウェブサイトより作成

出典の公開日：2015年3月31日

本資料への収録日：2015年3月31日